

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	ヒメイワ 美瑛町	ヒメイ 北瑛	平成30年度	令和2年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	
	1年度目 (平成30年度)	2年度目 (令和元年度)	3年度目 (目標年度:令和2年度)		
目 標 須 ① 付加価値額の拡大	2 0	2 0	2	0%	
事 業 関 連 取 組 目 標	② 経営面積の拡大	2 0	2 0	2	0%
	③ 農産物の価値向上				
	④ 単位面積当たり収量の増加				
	⑤ 経営コストの縮減				
	⑥ 農業経営の複合化				
	⑦ 農業経営の法人化				

II 経営体の成果目標

No	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等	
			1年度目 (平成30年 度)	2年度目 (令和元年度)	3年度目(目 標年度:令 和2年度)			
1	① 付加価値額の拡大(円)	21,749,116	22,401,930 17,188,236	22,401,930 19,616,323	22,401,930	-326.7%	青色申告決算書	
		収入総額	54,249,220	55,877,037 52,712,958	55,877,037 57,951,189			55,877,037
		費用総額	32,709,104	33,690,377 35,727,972	33,690,377 38,546,616			33,690,377
		人件費	209,000	215,270 203,250	215,270 211,750			215,270
	② 経営面積の拡大(ha)	48.3	50.3 49.7	50.3 49.7	50.3	70.0%	農地台帳	
2	① 付加価値額の拡大(円)	11,976,951	12,110,823 7,900,650	13,241,167 12,949,766	13,241,167	76.9%	青色申告決算書	
		収入総額	40,421,489	40,756,629 37,249,899	44,560,582 43,841,216			44,560,582
		費用総額	28,444,538	28,645,806 29,349,249	31,319,415 30,891,450			31,319,415
		人件費	0	0 0	0 0			0
	② 就業者一人当たり 付加価値額の拡大	5,988,476	6,055,412 3,950,325	6,620,584 6,474,883	6,620,584	76.9%		
		就業者数(人)	2	2 2	2 2			2
② 経営面積の拡大(ha)	22.95	26.95 22.9	26.95 22.9	26.95	-1.2%	農地台帳		

Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「付加価値額の拡大(0%)」「経営面積の拡大(0%)」の2項目が達成することができなかった。

・「付加価値額の拡大」については、令和元年度は収量が増えたが単価は下がったため、売り上げに対する経費が上がり達成できなかった。
今後は、コスト低減や品質向上及び買取価格の向上に向けた取組を行うよう指導し、目標達成することとする。

・「経営面積の拡大」については、当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標達成できなかった。今後については、経営面積の拡大を図れるよう指導し、目標達成することとする。

Ⅳ 人・農地プランの作成状況

(1) 作成した日 年 月 日

(2) 今後の見通し(未作成の場合)

〔記入要領〕

1 「現状」、「目標達成状況」欄は、別紙様式第1-1号経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び別紙様式第1-1号別添2融 資主体型補助事業対象経営体調書(以下「経営体調書」という。)の成果目標の「現状」、「1年度目」、「2年度目」、「3年度目」欄の内容を記入する。

I及びIIの「目標達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「○年度目達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 IIの対象経営体の成果目標に係る達成状況は、経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

IIの「○年度目達成状況(%)」欄の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

「付加価値額の拡大」(内訳を含む。)及び「就業者一人当たり付加価値額の拡大」について、実績を補正したものは、実績値を太字・斜体で記入する。

「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記入する。

「参考」欄には、成果目標に掲げたもの以外で付加価値額の拡大のための取組を行った場合、その内容を記入する。

3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は事業関連取組目標が概ね達成されていない場合)は、別途、別紙様式第1-5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IVの人・農地プランの作成状況については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区の場合(第1の2の(2)に該当する場合)に記入する。

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	ヒメイワ町 美瑛町	美田	平成30年度	令和2年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	
	1年度目 (平成30年度)	2年度目 (令和元年度)	3年度目 (目標年度:令和2年 度)		
目必 標須	① 付加価値額の拡大	1 0	1 0	1 0	0%
事業 関 連 取 組 目 標	② 経営面積の拡大	1 0	1 0	1 0	0%
	③ 農産物の価値向上				
	④ 単位面積当たり収量の増加				
	⑤ 経営コストの縮減				
	⑥ 農業経営の複合化				
	⑦ 農業経営の法人化				

II 経営体の成果目標

No	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段: 実績)			2年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等	
			1年度目 (平成30年 度)	2年度目 (令和元年 度)	3年度目(目 標年度:令 和2年度)			
1	①	付加価値額の拡大(円)	49,244,929	50,722,277 25,820,311	50,722,277 28,863,337	50,722,277	-1379.6%	青色申告決算書
		収入総額	85,834,241	88,409,268 60,371,570	88,409,268 64,998,248	88,409,268		
		費用総額	50,012,462	51,512,836 44,147,039	51,512,836 46,938,511	51,512,836		
		人件費	13,423,150	13,825,845 9,595,780	13,825,845 10,803,600	13,825,845		
	②	経営面積の拡大(ha)	78.8	82.8 78.7	82.8 78.9	82.8	2.5%	農地台帳

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「付加価値額の拡大(0%)」「経営面積の拡大(0%)」の2項目が達成することができなかった。

- ・「付加価値額の拡大」については、令和元年度は収量が増えたが単価は下がったため、売り上げに対する経費が上がり達成できなかった。今後は、コスト低減や品質向上及び買取価格の向上に向けた取組を行うよう指導し、目標達成することとする。
- ・「経営面積の拡大」については、当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標達成できなかった。今後については、経営面積の拡大を図れるよう指導し、目標達成することとする。

Ⅳ 人・農地プランの作成状況

(1) 作成した日 年 月 日

(2) 今後の見通し(未作成の場合)

--

〔記入要領〕

1 「現状」、「目標達成状況」欄は、別紙様式第1-1号経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び別紙様式第1-1号別添2融 資主体型補助事業対象経営体調書(以下「経営体調書」という。)の成果目標の「現状」、「1年度目」、「2年度目」、「3年度目」欄の内容を記入する。

I 及びIIの「目標達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「○年度目達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 IIの対象経営体の成果目標に係る達成状況は、経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

IIの「○年度目達成状況(%)」欄の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

「付加価値額の拡大」(内訳を含む。)及び「就業者一人当たり付加価値額の拡大」について、実績を補正したものは、実績値を太字・斜体で記入する。

「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記入する。

「参考」欄には、成果目標に掲げたもの以外で付加価値額の拡大のための取組を行った場合、その内容を記入する。

3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は事業関連取組目標が概ね達成されていない場合)は、別途、別紙様式第1-5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IVの人・農地プランの作成状況については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区の場合(第1の2の(2)に該当する場合)に記入する。

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	ヒエイ町の美瑛町	ルベシベ 瑠辺薬	平成30年度	令和2年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)
	1年度目 (平成30年度)	2年度目 (令和元年度)	3年度目 (目標年度:令和2年度)	
目 標 須 ① 付加価値額の拡大	1 0	1 0	1	0%
事 業 関 連 取 組 目 標 ② 経営面積の拡大	1 0	1 0	1	0%
	③ 農産物の価値向上			
	④ 単位面積当たり収量の増加			
	⑤ 経営コストの縮減			
	⑥ 農業経営の複合化			
	⑦ 農業経営の法人化			

II 経営体の成果目標

No	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等
			1年度目 (平成30年度)	2年度目 (令和元年度)	3年度目(目 標年度:令 和2年度)		
1	①	付加価値額の拡大(円)	23,917,213	24,871,384 19,508,284	24,871,384 21,335,845	24,871,384	青色申告決算書
		収入総額	58,159,960	66,568,614 60,378,383	66,568,614 61,944,006	66,568,614	
		費用総額	34,242,747	41,697,230 40,870,099	41,697,230 40,608,161	41,697,230	
		人件費	0	0 0	0 0	0	
	② 経営面積の拡大(ha)	54.3	58.3 54.2	58.3 54.2	58.3	-2.4%	

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「付加価値額の拡大(0%)」「経営面積の拡大(0%)」の2項目が達成することができなかった。

・「付加価値額の拡大」については、令和元年度は収量が増えたが単価は下がったため、売り上げに対する経費が上がり達成できなかった。

今後は、コスト低減や品質向上及び買取価格の向上に向けた取組を行うよう指導し、目標達成することとする。

・「経営面積の拡大」については、当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標達成できなかった。今後については、経営面積の拡大を図れるよう指導し、目標達成することとする。

IV 人・農地プランの作成状況

- (1) 作成した日 年 月 日
(2) 今後の見通し(未作成の場合)

--

〔記入要領〕

1 「現状」、「目標達成状況」欄は、別紙様式第1-1号経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び別紙様式第1-1号別添2融 資主体型補助事業対象経営体調書(以下「経営体調書」という。)の成果目標の「現状」、「1年度目」、「2年度目」、「3年度目」欄の内容を記入する。

I 及びIIの「目標達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「○年度目達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 IIの対象経営体の成果目標に係る達成状況は、経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

IIの「○年度目達成状況(%)」欄の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

「付加価値額の拡大」(内訳を含む。)及び「就業者一人当たり付加価値額の拡大」について、実績を補正したものは、実績値を太字・斜体で記入する。

「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記入する。

「参考」欄には、成果目標に掲げたもの以外で付加価値額の拡大のための取組を行った場合、その内容を記入する。

3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は事業関連取組目標が概ね達成されていない場合)は、別途、別紙様式第1-5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IVの人・農地プランの作成状況については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区の場合(第1の2の(2)に該当する場合)に記入する。

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	ビエイョウ美瑛町	シンセイ新星	平成30年度	令和2年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目達成状況(%)	
	1年度目(平成30年度)	2年度目(令和元年度)	3年度目(目標年度:令和2年度)		
目必標須	① 付加価値額の拡大	0	3	3	67%
		1	2		
事業関連連取組目標	② 経営面積の拡大	2	2	2	0%
		0	0		
	③ 農産物の価値向上	1	1	1	0%
		0	0		
	④ 単位面積当たり収量の増加				
	⑤ 経営コストの縮減				
	⑥ 農業経営の複合化				
⑦ 農業経営の法人化					

II 経営体の成果目標

No	項目	現状	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目達成状況(%)	実績を確認した資料名等	
			1年度目(平成30年度)	2年度目(令和元年度)	3年度目(目標年度:令和2年度)			
1	① 付加価値額の拡大(円)	9,293,185	9,293,185 20,585,580	11,151,822	11,151,822	H30年度達成済み	青色申告決算書	
		収入総額	136,668,452	136,668,452 187,542,563	164,002,142			164,002,142
		費用総額	170,287,337	170,287,337 216,346,770	204,344,804			204,344,804
		人件費	42,912,070	42,912,070 49,389,787	51,494,484			51,494,484
2	② 農産物の価値向上(6次産業化の取組:製粉化した小麦を加工して販売)小麦・きたほなみ(ha(kg))	0.0 ha 0 kg	1.20ha 10,000kg 0.26ha 1,170kg	1.20ha 10,000kg 2.3ha 9,000kg	1.20ha 10,000kg	191.6% (90.0%)	販売実績	
		① 付加価値額の拡大(円)	18,775,229	18,775,229 17,219,141	24,823,185 14,555,099	24,823,185	-69.7%	青色申告決算書
2	① 収入総額	66,234,807	66,234,807 67,032,918	72,391,942 77,195,585	72,391,942		青色申告決算書	
		費用総額	47,543,578	47,543,578 49,813,777	47,643,757 62,640,486	47,643,757		
		人件費	84,000	84,000 0	75,000 0	75,000		
2	② 経営面積の拡大(ha)	49.02	53.02 44.7	53.02 44.7	53.02	-108.0%	農地台帳	

3	①	付加価値額の拡大(円)	16,012,212	16,012,212	16,492,579	16,492,579	353.1%	青色申告決算書
		収入総額	42,709,219	42,709,219	43,990,496	43,990,496		
		費用総額	26,697,007	26,697,007	27,497,917	27,497,917		
		人件費	0	0	0	0		
		就業者一人当たり付加価値額の拡大	8,006,106	8,006,106	8,246,290	8,246,290	353.1%	
		就業者数	2	2	2	2		
	②	経営面積の拡大(ha)	40.63	44.63 40.6	44.63 40.6	44.63	-0.7%	農地台帳

Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「付加価値額の拡大(67%)」「経営面積の拡大(0%)」「農産物の価値向上(0%)」の3項目が達成することができなかった。

・「付加価値額の拡大」については、令和元年度は収量が増えたが単価は下がったため、売り上げに対する経費が上がり達成できなかった。
 今後は、コスト低減や品質向上及び買取価格の向上に向けた取組を行うよう指導し、目標達成することとする。

・「経営面積の拡大」については、当初の計画より土地の購入または賃貸を予定していたが、農地の出し手が見つからず土地の集積を行うことができなかったことが原因となり、目標達成できなかった。今後については、経営面積の拡大を図れるよう指導し、目標達成することとする。

・「農産物の価値向上」については、作付面積は目標の達成となったが、販売数量が目標が未達成となった。今後、より作付面積の拡大を図り、反収を増加できるよう関係機関と協力し、助言および指導を行っていき、目標の達成につなげていく。

Ⅳ 人・農地プランの作成状況

(1) 作成した日 年 月 日

(2) 今後の見通し(未作成の場合)

〔記入要領〕

1 「現状」、「目標達成状況」欄は、別紙様式第1-1号経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び別紙様式第1-1号別添2融資主体型補助事業対象経営体調査書(以下「経営体調査」という。)の成果目標の「現状」、「1年度目」、「2年度目」、「3年度目」欄の内容を記入する。

I及びIIの「目標達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調査書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 IIの対象経営体の成果目標に係る達成状況は、経営体調査書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

IIの「〇年度目達成状況(%)」欄の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

「付加価値額の拡大」(内訳を含む。)及び「就業者一人当たり付加価値額の拡大」について、実績を補正したものは、実績値を太字・斜体で記入する。

「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記入する。

「参考」欄には、成果目標に掲げたもの以外で付加価値額の拡大のための取組を行った場合、その内容を記入する。

3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は事業関連取組目標が概ね達成されていない場合)は、別途、別紙様式第1-5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IVの人・農地プランの作成状況については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区の場合(第1の2の(2)に該当する場合)に記入する。

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	ビエイチエフ美瑛町	フクミ・サンアイ福富・三愛	平成30年度	令和2年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目達成状況(%)	
	1年度目(平成30年度)	2年度目(令和元年度)	3年度目(目標年度:令和2年度)		
目必 標須	① 付加価値額の拡大	1 0	1 1	1 1	100%
事業 関 連 取 組 目 標	② 経営面積の拡大	1 1	1	1	H30年度達成済み
	③ 農産物の価値向上				
	④ 単位面積当たり収量の増加				
	⑤ 経営コストの縮減				
	⑥ 農業経営の複合化				
	⑦ 農業経営の法人化				

II 経営体の成果目標

No	項目	現状	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目達成状況(%)	実績を確認した資料名等
			1年度目(平成30年度)	2年度目(令和元年度)	3年度目(目標年度:令和2年度)		
1	① 付加価値額の拡大(円)		15,296,054	15,754,936 11,701,935	15,754,936 24,134,802	15,754,936	青色申告決算書
		収入総額	46,291,582	47,680,330 54,557,181	47,680,330 78,008,124	47,680,330	
		費用総額	32,961,628	33,950,477 44,006,321	33,950,477 57,043,352	33,950,477	
		人件費	1,966,100	2,025,083 1,151,075	2,025,083 3,170,030	2,025,083	
	② 経営面積の拡大(ha)	52.33	56.33 61.3	56.33 61.3	56.33	224.2%	

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

2年度目に「付加価値額の拡大」の1項目を達成した。引き続き関係機関と協力し、助言および指導を行っていく。

IV 人・農地プランの作成状況

(1) 作成した日 年 月 日

(2) 今後の見通し(未作成の場合)

--

〔記入要領〕

1 「現状」、「目標達成状況」欄は、別紙様式第1-1号経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び別紙様式第1-1号別添2融 資主体型補助事業対象経営体調書(以下「経営体調書」という。)の成果目標の「現状」、「1年度目」、「2年度目」、「3年度目」欄の内容を記入する。

I 及び II の「目標達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 II の対象経営体の成果目標に係る達成状況は、経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

II の「〇年度目達成状況(%)」欄の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

「付加価値額の拡大」(内訳を含む。)及び「就業者一人当たり付加価値額の拡大」について、実績を補正したものは、実績値を太字・斜体で記入する。

「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記入する。

「参考」欄には、成果目標に掲げたもの以外で付加価値額の拡大のための取組を行った場合、その内容を記入する。

3 III の「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は事業関連取組目標が概ね達成されていない場合)は、別途、別紙様式第1-5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IV の人・農地プランの作成状況については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区の場合(第1の2の(2)に該当する場合)に記入する。

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	ヒベツ町の美瑛町	ミザワ水沢	平成30年度	令和2年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目達成状況(%)
	1年度目(平成30年度)	2年度目(令和元年度)	3年度目(目標年度:令和2年度)	
目標① 付加価値額の拡大	1 0	1 0	1	0%
② 経営面積の拡大				
③ 農産物の価値向上	1 0	1 0	1	0%
④ 単位面積当たり収量の増加				
⑤ 経営コストの縮減				
⑥ 農業経営の複合化				
⑦ 農業経営の法人化				

II 経営体の成果目標

No	項目	現状	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目達成状況(%)	実績を確認した資料名等	
			1年度目(平成30年度)	2年度目(令和元年度)	3年度目(目標年度:令和2年度)			
1	① 付加価値額の拡大(円)	36,161,547	37,246,394 24,082,961	37,246,394 35,943,148	37,246,394	-20.1%	青色申告決算書	
		収入総額	116,397,719	119,889,651 92,321,352	119,889,651 128,304,565			119,889,651
		費用総額	113,706,587	117,117,785 101,862,325	117,117,785 119,457,221			117,117,785
		人件費	33,470,415	34,474,528 33,623,934	34,474,528 27,095,804			34,474,528
	② 農産物の価値向上(農業の6次産業化/小麦の契約栽培)	0.0 JAに出荷	3.0ha (1カ所) 0.0ha (0カ所)	3.0ha (1カ所) 2.5ha (1カ所)	3.0ha (1カ所) (カ所)	#VALUE!	契約書	

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「付加価値額の拡大(0%)」「農産物の価値向上(0%)」の2項目が達成することができなかった。

・「付加価値額の拡大」については、令和元年度は収量が増えたが単価は下がったため、売り上げに対する経費が上がり達成できなかった。
 今後は、コスト低減や品質向上及び買取価格の向上に向けた取組を行うよう指導し、目標達成することとする。

・「農産物の価値向上」については、1カ所と小麦の契約栽培を行ったが、計画の面積を達成することができなかった。今後は、契約栽培を継続し面積の拡大に努めるよう指導し、目標達成することとする。

IV 人・農地プランの作成状況

(1) 作成した日 年 月 日

(2) 今後の見通し(未作成の場合)

〔記入要領〕

1 「現状」、「目標達成状況」欄は、別紙様式第1-1号経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び別紙様式第1-1号別添2融 資主体型補助事業対象経営体調書(以下「経営体調書」という。)の成果目標の「現状」、「1年度目」、「2年度目」、「3年度目」欄の内容を記入する。

I 及びIIの「目標達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 IIの対象経営体の成果目標に係る達成状況は、経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

IIの「〇年度目達成状況(%)」欄の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

「付加価値額の拡大」(内訳を含む。)及び「就業者一人当たり付加価値額の拡大」について、実績を補正したものは、実績値を太字・斜体で記入する。

「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記入する。

「参考」欄には、成果目標に掲げたもの以外で付加価値額の拡大のための取組を行った場合、その内容を記入する。

3 IIIの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は事業関連取組目標が概ね達成されていない場合)は、別途、別紙様式第1-5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IVの人・農地プランの作成状況については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区の場合(第1の2の(2)に該当する場合)に記入する。

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	ヒエイホウ 美瑛町	ケンヤ、フジノ 原野・藤野	平成30年度	令和2年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)
	1年度目 (平成30年度)	2年度目 (令和元年度)	3年度目 (目標年度:令和2年 度)	
目 標 須 ① 付加価値額の拡大	1 0	1 0	1	0%
事 業 関 連 取 組 目 標 ② 経営面積の拡大	1 0	1 1	1	100%
	③ 農産物の価値向上			
	④ 単位面積当たり収量の増加			
	⑤ 経営コストの縮減			
	⑥ 農業経営の複合化			
	⑦ 農業経営の法人化			

II 経営体の成果目標

No	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段: 実績)			2年度目 達成状況 (%)	実績を確認した資料名等	
			1年度目 (平成30年 度)	2年度目 (令和元年 度)	3年度目(目 標年度:令 和2年度)			
1	① 付加価値額の拡大(円)	15,018,866	15,469,432 11,852,761	15,469,432 12,776,061	15,469,432	-497.7%	青色申告決算書	
		収入総額	42,072,862	43,335,048 40,523,590	43,335,048 45,154,416	43,335,048		
		費用総額	28,518,496	29,374,051 29,852,629	29,374,051 33,349,005	29,374,051		
		人件費	1,464,500	1,508,435 1,181,800	1,508,435 970,650	1,508,435		
②	経営面積の拡大(ha)	36.47	38.47 36.5	38.47 41.7	38.47	259.0%	農地台帳	

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「付加価値額の拡大(0%)」の1項目が達成することができなかった。

・「付加価値額の拡大」については、令和元年度は収量が増えたが単価は下がったため、売り上げに対する経費が上がり達成できなかった。今後は、コスト低減や品質向上及び買取価格の向上に向けた取組を行うよう指導し、目標達成することとする。

IV 人・農地プランの作成状況

(1) 作成した日 年 月 日

(2) 今後の見通し(未作成の場合)

--

〔記入要領〕

1 「現状」、「目標達成状況」欄は、別紙様式第1-1号経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び別紙様式第1-1号別添2融 資主体型補助事業対象経営体調書(以下「経営体調書」という。)の成果目標の「現状」、「1年度目」、「2年度目」、「3年度目」欄の内容を記入する。

I 及び II の「目標達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 II の対象経営体の成果目標に係る達成状況は、経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

II の「〇年度目達成状況(%)」欄の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

「付加価値額の拡大」(内訳を含む。)及び「就業者一人当たり付加価値額の拡大」について、実績を補正したものは、実績値を太字・斜体で記入する。

「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記入する。

「参考」欄には、成果目標に掲げたもの以外で付加価値額の拡大のための取組を行った場合、その内容を記入する。

3 III の「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は事業関連取組目標が概ね達成されていない場合)は、別途、別紙様式第1-5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IV の人・農地プランの作成状況については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区の場合(第1の2の(2)に該当する場合)に記入する。

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	ヒエイチョウ美瑛町	シモウソベツ下宇莫別	平成30年度	令和2年度	美瑛町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目達成状況(%)
	1年度目(平成30年度)	2年度目(令和元年度)	3年度目(目標年度:令和2年度)	
① 付加価値額の拡大	3 1	3 2	3	67%
② 経営面積の拡大	2 2	2	2	H30年度達成済み
③ 農産物の価値向上				
④ 単位面積当たり収量の増加	1 0	1 1	1	100%
⑤ 経営コストの縮減				
⑥ 農業経営の複合化				
⑦ 農業経営の法人化	0 0	0 0	1	0%

II 経営体の成果目標

No	項目	現状	目標達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目達成状況(%)	実績を確認した資料名等	
			1年度目(平成30年度)	2年度目(令和元年度)	3年度目(目標年度:令和2年度)			
1	①	付加価値額の拡大(円)	9,161,576	9,514,424 12,797,357	9,514,424	9,514,424	H30年度達成済み	青色申告決算書
		収入総額	26,452,894	29,913,027 35,820,589	29,913,027	29,913,027		
		費用総額	17,318,318	20,606,009 23,113,232	20,606,009	20,606,009		
		人件費	27,000	207,406 90,000	207,406	207,406		
	②	経営面積の拡大(ha)	20.24	24.24 29.3	24.24	24.24	H30年度達成済み	農地台帳
2	①	付加価値額の拡大(円)	15,472,387	15,600,000 8,351,141	15,936,559	15,936,559	-1320.8%	青色申告決算書
		収入総額	50,467,234	50,600,000 49,390,784	51,981,252	51,981,252		
		費用総額	41,376,822	41,400,000 45,256,066	42,618,127	42,618,127		
		人件費	6,381,975	6,400,000 4,216,423	6,573,434	6,573,434		
	②	単位面積当たり収量の増加(米の新品種導入による収量の向上) ななつぼし→きらら ha・俵/a	0.3ha 8.0俵/10a	0.3ha ##### 0.0ha #####	1.0ha 9.5俵/10a 1.2ha #####	1.0ha #####	128.57% 213.33%	JA販売実績
	③	農業経営の法人化	個人	個人 個人	個人 個人	法人化	-	登記簿謄本

3	①	付加価値額の拡大(円)	18,423,902	18,976,620 15,218,729	18,976,620 22,747,539	18,976,620	782.2%	青色申告決算書
		収入総額	44,447,125	45,780,540 41,621,535	45,780,540 52,330,345	45,780,540		
		費用総額	26,973,723	27,782,935 27,205,806	27,782,935 30,197,806	27,782,935		
	人件費	950,500	979,015 803,000	979,015 615,000	979,015			
②	経営面積の拡大(ha)	30.26	34.26 41.4	34.26	34.26	H30年度 達成済み	農地台帳	

Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

「付加価値額の拡大(67%)」の1項目において目標を達成することができなかった。

・「付加価値額の拡大」については、令和元年は日照時間が平年より長くあったため、収穫量は平年よりもやや増加したが、病害虫による被害粒の混入が目立ち、製品率が下がったことにより収入総額が減少となった。今後は天候に影響を受けない品種への転向を促すとともに、品質向上及び買取価格の向上に向けた取組を行うよう指導し、目標を達成することとする。

Ⅳ 人・農地プランの作成状況

(1) 作成した日 年 月 日

(2) 今後の見通し(未作成の場合)

〔記入要領〕

1 「現状」、「目標達成状況」欄は、別紙様式第1-1号経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び別紙様式第1-1号別添2融資主体型補助事業対象経営体調書(以下「経営体調書」という。)の成果目標の「現状」、「1年度目」、「2年度目」、「3年度目」欄の内容を記入する。

I 及び II の「目標達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 II の対象経営体の成果目標に係る達成状況は、経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

II の「〇年度目達成状況(%)」欄の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

「付加価値額の拡大」(内訳を含む。)及び「就業者一人当たり付加価値額の拡大」について、実績を補正したものは、実績値を太字・斜体で記入する。

「補正の内容」欄には、実績を補正したものについて、補正の要因及び補正の方法(実績値の補正過程)を記入する。

「参考」欄には、成果目標に掲げたもの以外で付加価値額の拡大のための取組を行った場合、その内容を記入する。

3 III の「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。また、目標年度において目標が達成されていない場合(必須目標が達成されていない場合又は事業関連取組目標が概ね達成されていない場合)は、別途、別紙様式第1-5号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 IV の人・農地プランの作成状況については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区の場合(第1の2の(2)に該当する場合は記入不要)